

ごあいさつ

皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび、ディスクロージャー誌「118期営業のご報告(2025年4月1日~2026年3月31日)」を発刊いたしました。本誌を通じて、当行グループの経営状況や地域への取組みをご覧いただき、私どもの考えや歩みへのご理解を深めていただければ幸いです。

2025年度は、金融環境の変化に加え、デジタル技術の急速な発展により、日本経済や地域社会を取り巻く環境が大きく変化した一年でした。地域においては、企業の人手不足や事業承継への対応のみならず、個人の暮らしや価値観の変化、資産形成ニーズの多様化など、さまざまな課題や期待が交錯し、地域金融機関に求められる役割も複雑かつ多様化しています。

こうした時代だからこそ、お客さまの声に真摯に耳を傾け、ともに考え、ともに歩む姿勢がこれまで以上に求められていると考えています。私ども南日本銀行グループは、「話せるところ 頼れるところ」のコーポレートメッセージを合言葉に、地域の皆さまにとって最も身近な存在となり、課題解決のお手伝いができる銀行グループを目指します。

この方針のもと、第1次中期経営計画「インテグリティある組織への変革」において築いた土台を礎に、本年4月より第2次中期経営計画「Speed&Challenge~変革から成長へ~」を始動いたしました。本計画は、お客さまや地域にとっての「Only One Partner」となることを目指す長期ビジョンの実現に向けた「成長ステージ」と位置づけ、人材戦略・DX戦略・パートナーシップ戦略を柱に据えています。役職員一人ひとりが地域課題に果敢に挑み、ステークホルダーの皆さまとの共創を通じて、持続可能な地域の成長に貢献してまいります。

今後とも皆さまの変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



2026年7月

取締役頭取 田中 暁爾きょうじ